

平成 25 年 7 月 31 日

ちゅうしん全役職員の善意が原資に
第 2 回「なら・みらい創造プロジェクト」助成団体の決定について

奈良県地域貢献サポート基金・団体支援寄付のスキームを活用し、当金庫の全役職員の善意が原資となっている「なら・みらい創造プロジェクト」ですが、このたび奈良中央信用金庫と奈良NPOセンターの協働による選考が終了し、別紙 5 団体に対する総額 100 万円の助成が決定しました。

当金庫では昭和 23 年の創業当時より「常に地元の皆様とともに、地元の発展に貢献する。」という理念のもと、地域貢献を重視した取り組みを進めており、今回の取り組みも、県内のNPOやボランティア団体等のプロジェクトを支援し、信用金庫の使命である地域の活性化を目的として実施しています。

記

○第 2 回「なら・みらい創造プロジェクト」助成団体の決定について

助成対象：別紙の 5 団体

選考経緯：奈良県地域貢献サポート基金の登録 64 団体から、当金庫と奈良NPOセンターの協働により 5 団体を選考。選考目安は次のとおりであるが、それに加え、助成金 (1 団体につき 19 万円) が効果的に活かされる団体を考慮して選考した。

(選考目安)

- ・身近な生活の現場に発生している問題、課題の解決に寄与する活動
- ・奈良県の自然、歴史、伝統、文化を生かした、これからのまちづくり、地域づくりにかかわる活動
- ・多様なステークホルダーとの協働により、社会イノベーションを起こすような活動
- ・奈良県の将来発展にかかわり、かつ先駆的と思われる活動
- ・奈良県におけるボランティアやNPOなどの活動、発展をサポートする活動

助成金額：総額 100 万円、1 団体につき 19 万円を助成。(寄付のうち 5% は基金のPR など基金制度の推進のため奈良県が活用)

予 定：奈良県地域貢献サポート基金団体支援寄付のスキームに従い、事業が実施される。

そ の 他：助成金の 100 万円については、社会貢献活動に役立てる目的で、当金庫の役職員が毎月の給与から 300 円ずつ、金庫本体から同額を積み立てた“なら・ちゅうしん基金”が原資となっている。

問合せ ちゅうしんボランティアクラブ事務局 0744-33-3311 / 水上

平成25年度 第2回「なら・みらい創造プロジェクト」助成対象団体

団体名	主な活動 対象地域	団体自己PR
特定非営利活動法人 明日香の未来を創る会	明日香村	平成7年に「柵田ルネッサンス実行委員会」設立以来、柵田オーナー制度を導入して、柵田の保全活動に取り組み、参りましました。活動は、れんげ祭り、田植え、蛍の夕べ、ジャンボ案山子と案山子たて、彼岸花まつり、収穫祭、冬には炭焼きを行い、柵田オーナーの都市住民との交流が活発に行われています。
特定非営利活動法人 Salon de kid's ネット	天理市、奈良市、 大和郡山市	今回の支援を頂いた資金で、利用者様の第2の実家とされるように、サロン設備の充実、スタッフの更なる充実を図ってまいります。また次の課題として、固定された場所に行きにくい母親のために出張ひろばの拡大や、親子で楽しめる子ども縁日、親子音楽会などの回数を増やしていきけるようにし、子育てにかかわる地域の方々が活発に交流できる機会を作ってみていきます。
特定非営利活動法人 アゴラ音楽クラブ	奈良県全域	音楽活動に関しては単発的なイベントや音楽レクリエーションに参加する機会はあるものの、継続的な演奏活動、トレーニングが出来る場はごくわずかである。発達のゆるやかな知的障がい者に対し学齢期から成人に至るまで長期的なプログラムで活動を支援する仕組み作りを目指したい。研究部門と、その成果をフィードバックできる臨床現場が連携を取ることにより有意義な活動が期待できる。
さくらい読書会「子ども読未知」	奈良県全域	30代、40代の子育て世代のお母さんを中心に活動しています。音楽と絵本のコラボレーションコンサートなど、楽しい読みかせを、自分たちが楽しみながらボランティアしています。
平群町ボランティア連絡協議会	奈良県全域	平成21年から、防災ずきんを中学生と協力して作り、小学生にプレゼント。子どもたちを災害から守る活動を始めた。この事業が国土交通省近畿地方整備局が募集した「第5回ゆめづくりまちなみづくり賞」の「優秀賞」を受賞。さらに平成24年、「防災かまどベンチ」作りに着手、町内14箇所を設置予定。材料費1基35,000円を見積もっている。平群町・教育委員会・学校・自治会・企業などと協働ですすめ、安全なまちなみづくりに貢献したい。

●選考経緯

ステップ1.

県の地域貢献サポーター基金登録64団体から、理事長はじめ3名の役員、2名の部長の計5名により11団体を選考。選考は、各団体をABC評価し点数化、上位団体を残した。

ステップ2.

当金庫で選考した11団体から奈良NPOセンターとの協議により5団体に絞り込みを行った。

ステップ3.

ならちゅうしん基金から100万円を拠出、奈良県地域貢献サポーター基金を経由して11団体あたり19万円を助成。(寄付のうち5%は基金のPRなど基金制度の推進のため奈良県が活用) 贈呈式は7月31日 県庁にて

●選考基準

- ・ 身近な生活の現場に発生している問題、課題の解決に寄与する活動
- ・ 奈良県の自然、歴史、伝統、文化を生かした、これからのまちづくり、地域づくりにかかわる活動
- ・ 多様なステークホルダーとの協働により、社会イノベーションを起こすような活動
- ・ 奈良県の将来発展にかかわり、かつ先駆的と思われる活動
- ・ 奈良県におけるボランティアやNPOなどの活動、発展をサポートする活動